

— 人権フォーラム2015 in 北海道 —

ハンセン病問題に関する シンポジウム

2015 11/3 火・祝

開場 13:00

開演 13:30~16:45

入場
無料

かでの2・7 北海道立道民活動センター

北海道札幌市中央区北2条西7丁目
道民活動センタービル



沖縄の子どもたちが演ずる感動作
演劇「光の扉を開けて」

\ 沖縄からのメッセージ /

ハンセン病のこと、エイズのこと、共に生きるということ

予約不要。どなたでも入場できます。団体(10名以上)での入場は、事前にお申し込みが必要になります。

主催 厚生労働省、法務省、北海道、全国人権擁護委員連合会

共催 札幌法務局、札幌人権擁護委員連合会、全国ハンセン病療養所入所者協議会、ハンセン病違憲国賠訴訟全国原告団協議会、ハンセン病違憲国賠訴訟全国弁護団連絡会、HIV人権ネットワーク沖縄、公益財団法人日本科学技術振興財団

後援(予定) 文部科学省、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、沖縄県教育委員会、那覇市教育委員会、北海道私立中学高等学校協会、公益社団法人北海道私立専修学校各種学校連合会、北海道弁護士会連合会、札幌弁護士会、朝日新聞社、読売新聞社、毎日新聞社、日本経済新聞社、産経新聞社、NHK、北海道新聞社、HBC北海道放送、STV札幌テレビ放送、UHB北海道文化放送、HTB北海道テレビ放送、TVHテレビ北海道、STVラジオ、エフエム北海道、エフエム・ノースウエーブ、日本皮膚科学会、日本ハンセン病学会、ハンセン病市民学会、エイズ予防財団

お問い合わせ先

ハンセン病問題に関するシンポジウム事務局(株式会社 北日本広告社内)

電話/011-241-2314 FAX/011-241-3416

◎受付時間/9:30~17:30 メール/event@ad-kitanihon.co.jp
※但し、土・日・祝日を除く



最寄りの
交通機関

◎JR札幌駅南口 ……徒歩13分
◎地下鉄南北線さっぽろ駅(10番出口) ……徒歩9分
◎地下鉄東西線大通駅(2番出口) ……徒歩11分
◎地下鉄東西線西11丁目駅(4番出口) ……徒歩11分

※お車で越しの方は駐車場をご利用ください。(有料)

人権フォーラム2015 in 北海道

ハンセン病問題に関するシンポジウム

目的

ハンセン病やエイズなどに対する正しい理解を、シンポジウムや演劇を通して深め、ハンセン病回復者やエイズ患者、HIV感染者などに対する差別や偏見をなくし、全ての人が「共に生きる」ための、より良い社会づくりに貢献することを目的とします。

プログラム 司会／北海道札幌国際情報高等学校 放送局

オープニング 北海道札幌旭丘高等学校 合唱部

主催者代表あいさつ 厚生労働省／北海道

シンポジウム

◆コーディネーター

黒尾 和久 (国立ハンセン病資料館 学芸部長)

◆パネリスト

桂田 博祥 (国立療養所松丘保養園道民会 会長)

井上 昌和 (ハンセン病回復者と北海道をむすぶ会 代表)

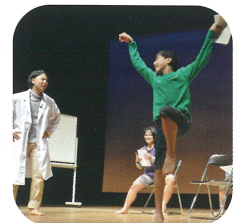
秀嶋 ゆかり (札幌弁護士会 人権擁護委員会 前委員長)

青木 麻由 (北海道札幌旭丘高等学校2年)

滝 一葉 (北海道札幌旭丘高等学校2年)

演劇「光の扉を開けて」

沖縄の子どもたちが演ずる感動作



フィナーレ

大合唱／「世界に一つだけの花」

出席された皆様も一緒に歌ってプログラムを盛り上げましょう。

ハンセン病問題に関するシンポジウム事務局宛て FAX／011-241-3416

団体参加申込み書

10名以上の団体につきましては、来場者数把握と座席確保のため、下記の申込書に必要事項をご記入の上10月27日(火)までに、事務局宛てにFAXでご送付ください。

団体名称			
代表者氏名		参加予定人数	人
代表者連絡先	電話番号	FAX番号	
	E-mail		
座席確保の希望	<input type="checkbox"/> 希望する	(記入が無い場合は自由席となります)	
その他連絡事項			

※予定が変更になった場合は事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。